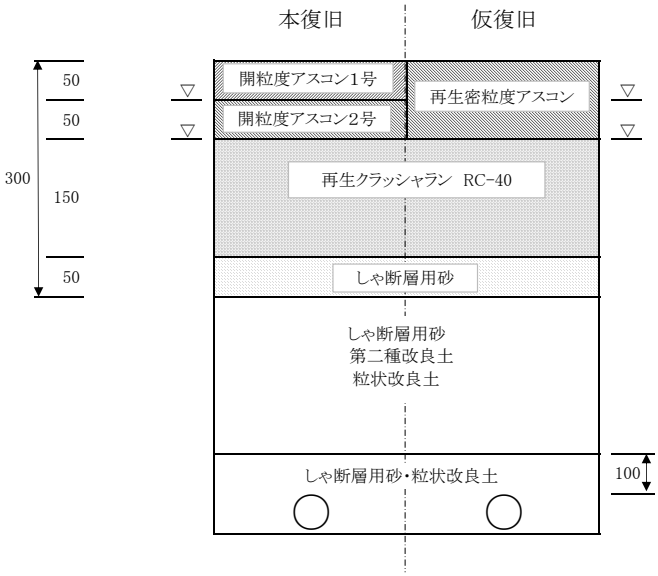
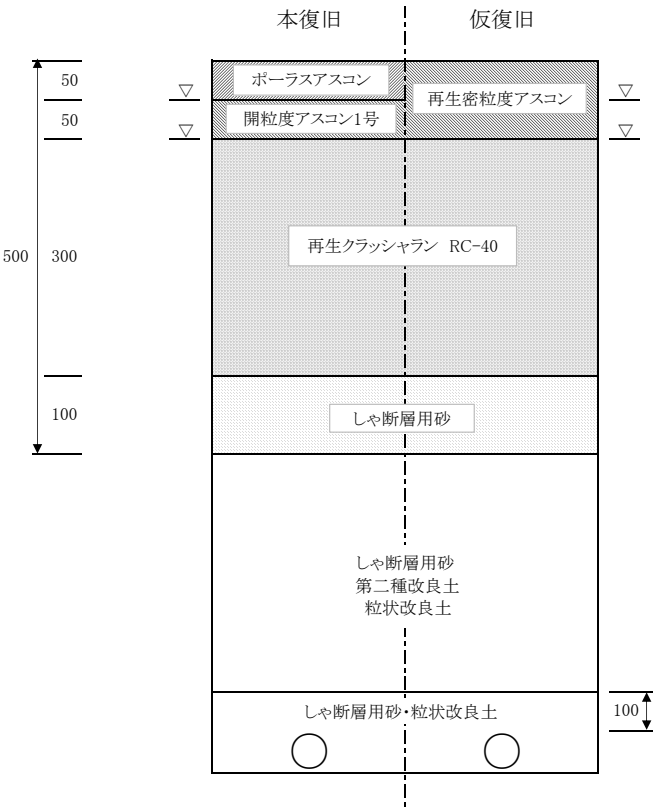
西東京市道路復旧・埋戻し構造図（道路占用関係）

令和8年10月1日

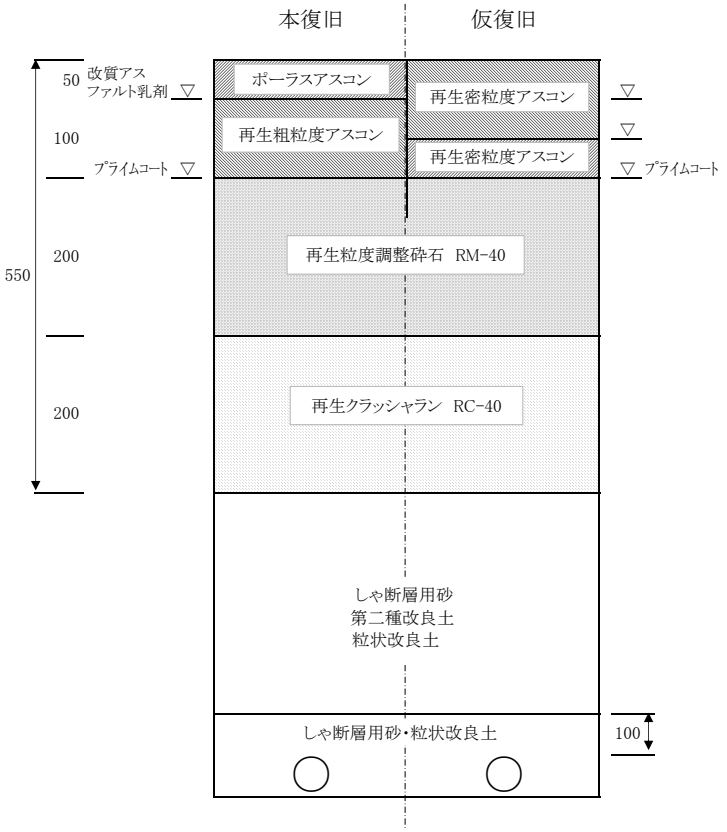
□ 透水性アスファルト舗装 30型



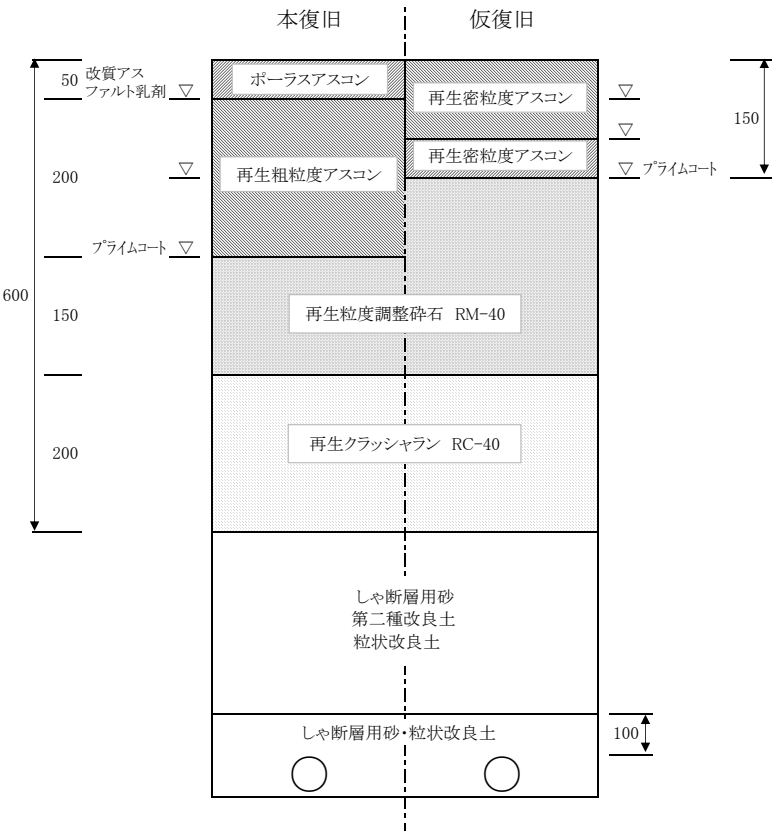
□ 透水性アスファルト舗装 50型



□ 排水性アスファルト舗装 55型



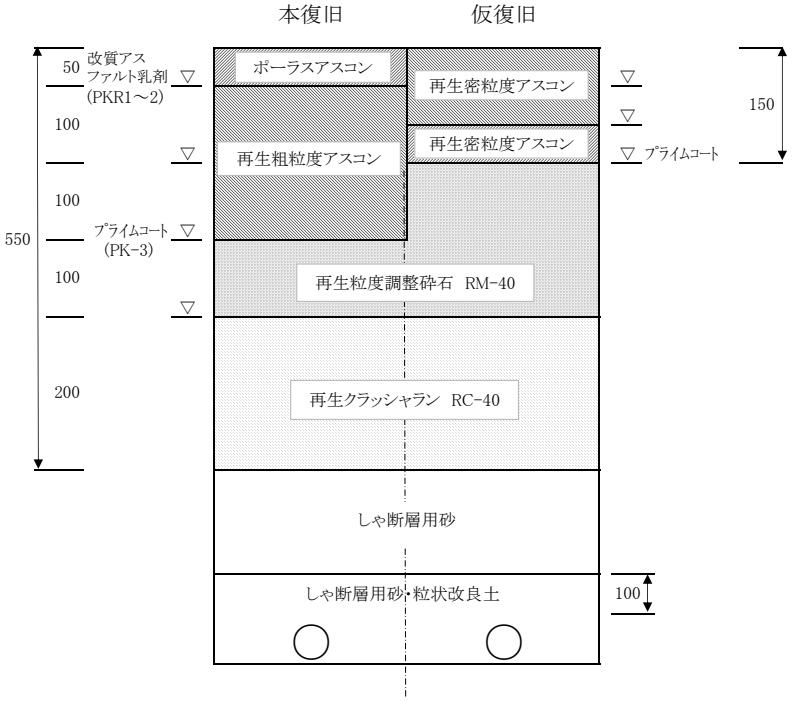
□ 排水性アスファルト舗装 60型



注1）排水性舗装の場合は路面切削については、10㎝とする。
注2） しゃ断層用砂は東京都建設局土木材料仕様書によること。
注3） 排水性アスファルト舗装の詳細については、裏面を参照すること
注4） 舗装の一層仕上厚は、表層7cm以下、基層10cm以下、上層路盤15cm以下、下層路盤20cm以下とすること。
注5） 埋戻しの一層仕上厚は、30cm以下を基本として、十分締め固めながら埋め戻すこと。
ただし、狭隘箇所等の小型締固め機械等（タンパ、振動ローラ等）を用いる場合は、一層仕上厚は20㎝以下とすること。

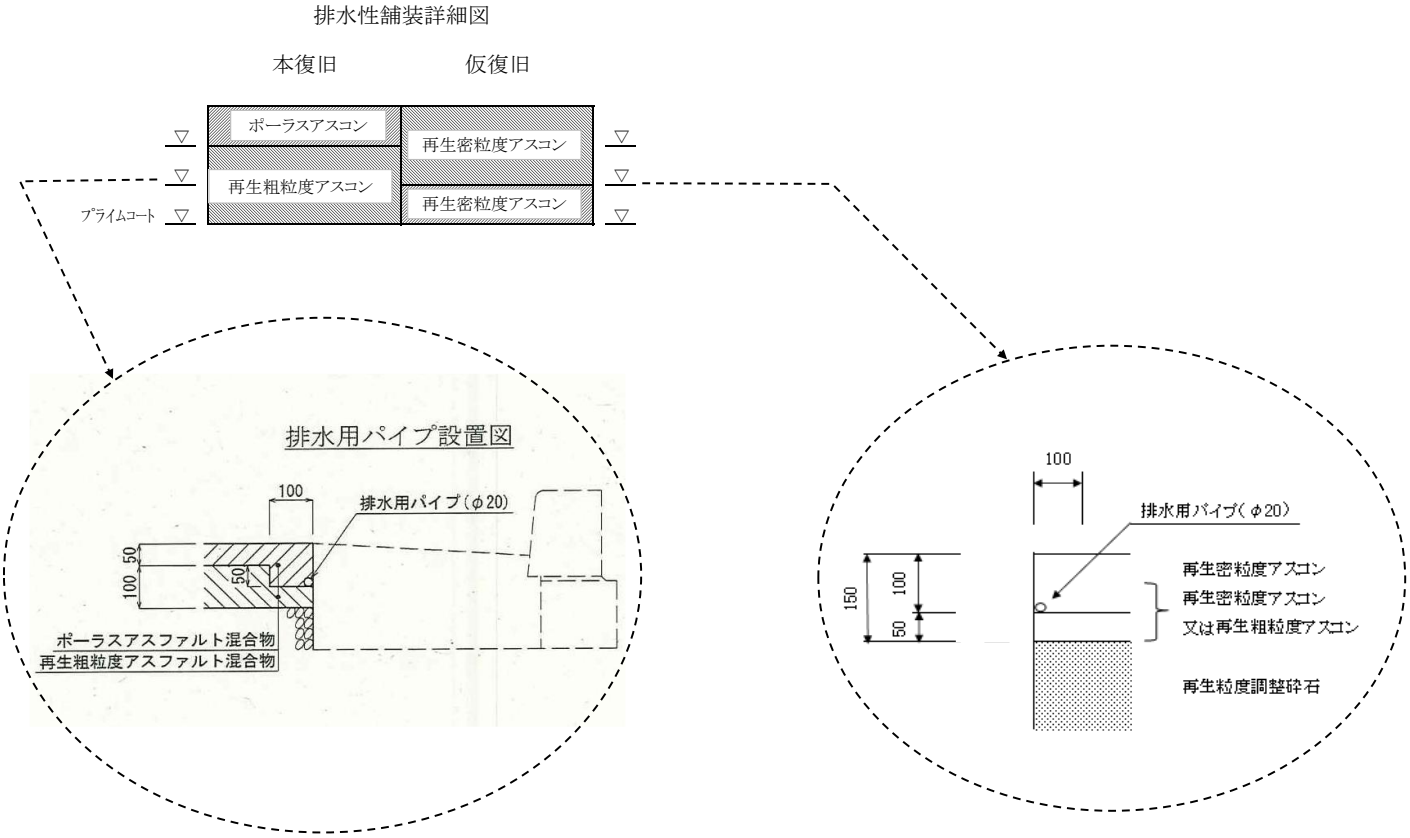
市道119号線

□ 排水性アスファルト舗装 55型



注1）排水性舗装の場合は路面切削については、10㎝とする。
注2） しゃ断層用砂は東京都建設局土木材料仕様書によること。
注3） 排水性アスファルト舗装の詳細については、下図を参照すること
注4） 舗装の一層仕上厚は、表層7cm以下、基層10cm以下、上層路盤15cm以下、下層路盤20cm以下とすること。
注5） 埋戻しの一層仕上厚は、30cm以下を基本として、十分締め固めながら埋め戻すこと。
ただし、狭隘箇所等の小型締固め機械等(タンパ、振動ローラ等)を用いる場合は、一層仕上厚は20㎝以下とすること。

排水性舗装詳細図



ポーラスアスファルト混合物を使用する場合、表層切削のみでは基層表面に切削機による切削痕の隙間に水が滞留し、表面の剥離が生じる恐れがあることから、排水機能層のみではなく、不透水性の層も含めて切削深10㎝とする。
また、仮復旧時においても排水用パイプ(φ20)を復旧すること。